

野菜作りの基礎知識

熊本県の資料より抜粋

地 温

野菜の地上部の生育を良くするには、根を広く深く張らせなければなりません。
果菜類の生育温度及び限界温度(℃) ハウス栽培用だが 参考まで

類別	作物	昼間気温		夜間気温		地温	
		最高限界	適温	適温	最低限界	適温	最低限界
ナス科	トマト	35	25-20	13-8	5	18-15	13
	ナス	35	28-23	18-13	10	20-18	13
	ピーマン	35	30-25	20-15	12	20-18	13
ウリ科	キュウリ	35	28-23	15-10	8	20-18	13
	スイカ	35	28-23	18-13	10	20-18	13
	カボチャ	35	25-20	15-10	8	18-15	13

葉・根菜類の生育温度及び限界温度(℃) ハウス栽培用だが 参考まで

	作物名	最高限界	気温適温	最低限界
	ホウレンソウ	25	20-15	8
	ダイコン	25	20-25	8
	ハクサイ	23	18-13	5
	レタス	25	20-15	8
	シュンギク	25	20-15	8

野菜の高温障害

種 類

- トマト 30℃以上で花粉の機能低下
35度では同化作用よりも呼吸作用が大きく、炭水化物の消耗が大となる。
- ナス 30~32.5℃以上で花粉の機能低下
- キュウリ 30℃以上で花粉の機能低下
- カボチャ 35度以上になると、雌雄花の分化に異常をきたす
- インゲン 30℃以上で花粉の機能低下
- ハクサイ 25℃以上で発育弱く、発病多い
- キャベツ 25℃以上で発育弱く、発病多い
- ジャガイモ 21℃以上でイモの形成不良、29℃でイモの形成肥大がまったく行われない